

か

すくいの しゆくふくを こころに おさめれば
かみさまは みちびいてくださいます



エペソ 1:3~5 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神はキリストにあって、天にあるすべての霊的祝福をもって私たちを祝福してくださいました。すなわち、神は私たちを世界の基の置かれる前から彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしうとされました。神は、みむねとみこころのままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしうと、愛をもってあらかじめ定めておられました。

1. 救われた者には特別な恵みがあります

- (1) 散らされていますが、キリストにある者です (エペソ1:1)
- (2) 恵みと平安を受けた者です (エペソ1:2)
- (3) 天にあるすべての霊的な祝福を受けた者です (エペソ1:3)

2. だれが、いつ、どのように救われましたか

- (1) 世界の基の置かれる前からキリストにあって選ばれました (エペソ1:4)
- (2) 愛にあって聖く、傷のない者とされました (エペソ1:4)
- (3) あらかじめ定められました (エペソ1:5)
- (4) 神様の子どもだと、証印を押されました (エペソ1:13)



また、失敗しちゃった。ハイハイ

あいつ、よく失敗もするのにな、することがすべてうまくいくみたいだな

あいつを見ていると、なぜかわからないけど気分がよいよな

3. どんな祈りをすれば、絶えず答えられるのでしょうか

- (1) 啓示の御霊で、神様を知るようにさせてくださいと祈りましょう (エペソ1:17)
- (2) 神様が召された理由と、神様がなさることが栄光に富んだものであることを知らせてくださいと祈りましょう (エペソ1:18)
- (3) 力の働きを知るように祈りましょう (エペソ1:19)



背景のはなし

エペソ人への手紙の著者、パウロ

エペソ人への手紙は、パウロがエペソ教会に送った手紙です。

本来パウロは律法学者であり、パリサイ人でした。ところがある日、律法にすぐれていたパウロが、復活されたイエス様に出会いました。(使徒9:1~15) パウロは、それまで知っていた知識、律法が、ただキリストのためにあったことを悟りました。自分が良いと思っていたすべてのことを、ちりあくただと感じる

ほど、福音がよかったです。パウロは弟子訓練を受けて、ずっと福音を味わいました。すると、魔術師の影響を受けた総督が救われたり(使徒13:1~12)悪霊につかれて占っていた女奴隷が救われました。(使徒16:16~18) それだけでなく、偶像がいっぱいだったエペソ地域が福音で変化しました。(使徒19:8~20) そして、暴風に出会った人々も救いを受けたのです。(使徒27:24~25) パウロは、死んでいる現場を見ながら世界福音化の夢を持って、結局、死を押し切ってローマまで行ったのです。

▲ [著書]: <ローマ人への手紙>、<コリント人への手紙第一、第二>、<ガラテヤ人への手紙>、<エペソ人への手紙>、<ピリピ人への手紙>、<コロサイ人への手紙>、<テサロニケ人への手紙第一、第二>、<テモテへの手紙第一、第二>、<テトスへの手紙>、<ピレモンへの手紙>

[考えてみよう]

私はどのように救われたのでしょうか？

救われた私はどのように変化したのでしょうか？

パウロの生活を振り返りながら、私が持っている福音がどれくらい尊いことが考えてみましょう。





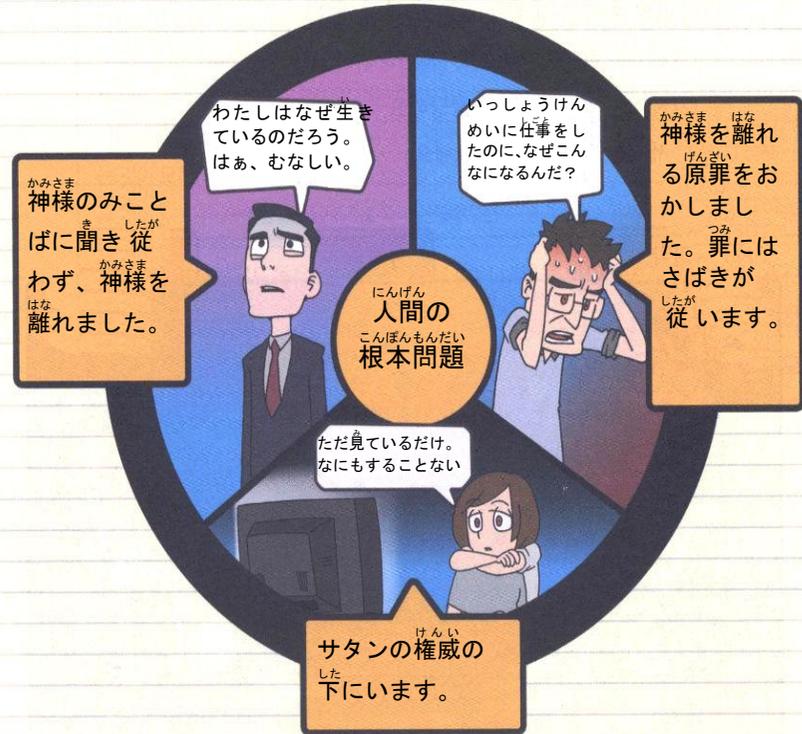
か でんどうと せんきょうは いっしょうの こたえで つながります



エペソ 2:1~3 あなたがたは自分の罪過と罪の中に死んでいた者であって、そのころは、それらの罪の中にあつてこの世の流れに従い、空中の權威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている靈に従つて、夢んでいました。私たちもみな、かつては不従順の子らの中にあつて、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行ない、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。

1. 救われなければならない理由は何ですか

- (1) 罪過と罪によって死にました (エペソ 2:1)
- (2) 空中の權威を持つ者に属しました (エペソ2:2)
- (3) 生まれながら御怒りを受けるべき子どもでした (エペソ2:3)

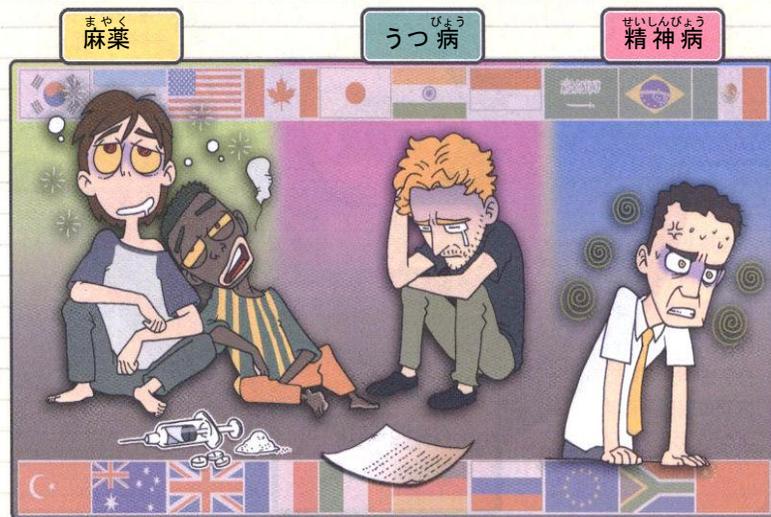


2. 救いと伝道の祝福は何ですか

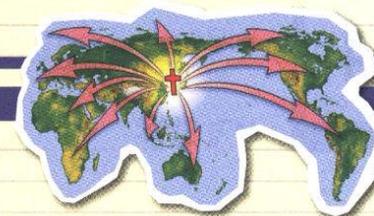
- (1) 過去の問題の解決です (エペソ2:1)
- (2) 現在の問題の解決です (エペソ2:2)
- (3) 未来の問題の解決です (エペソ2:6)

3. 宣教の祝福は世界を見る祝福です

- (1) 世界はひとつの民族です (エペソ3:14~15)
- (2) 世界は霊的問題で苦しんでいます。
- (3) イエス・キリストが必要です



背景のはなし



宣教現場のはなし

アラーの神が本物の神様なのに、聖書を信じるクリスチャンは「イエス・キリスト」が神様だと話をする。これはうそで、アラーの神を信じない人々のせいで、この世には戦争が起きて、幸せがないのだ。…爆弾をチョコッキのポケットに入れて、クリスチャンがたくさんいる所に行き、爆弾を爆発させよう…爆弾が爆発するとき、もちろん、君も共に死ぬようになる。しかし、君はアラーの神の栄光のために命をささげたので、この地ではもちろん、あの天国でも偉大な英雄になるから、どれくらいすばらしくして幸せなことだろうか…アラーの神の中で、はやく死ぬのがむしろ幸せなことだよ。

・コーランには、「殉教者として死ねば、天国に行き72人の女性が永遠に迎える」という箇所がある。

過激なイスラム教徒は、学校やテレビで、こういう内容を子どもたちに伝えるそうです。この子どもたちが育てば、どうなるでしょうか。また、私たちがイエス様がキリストでないと話す文化を見ながら育てています。私たちは、あとからどうなるでしょうか。イスラム教の人も私たちがすべてには、神様に会う唯一の道、イエス・キリストが必要です。全世界はレムナントを待っているのです。文化の創造者である神様のみことばが、教会から世の中に伝えられるのが宣教です。

【考えてみよう】

文・世界宣教総局

まわりのお友達を見て、福音が必要だと感じることはありますか。
なぜ伝道と宣教をしなければならないのでしょうか。

★学院福音化メッセージ(レムナントデイメッセージ)は www.wedarak.net でダウンロードできます。



か レムナントは このよに かつのこった ものです



エペソ 4:10~12 この下られた方自身が、
すべてのものを満たすために、もろもろの天
よりも高く上られた方なのです—— こうして、
キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預
言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また
教師として、お立てになったのです。それは、
聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリス
トのからだを建て上げるためであり、

1. レムナントは教会を生かすためになにをしなければならぬのでしょうか
- (1) 各自に違う賜物を与えられました (エペソ 4:10~11)
- (2) 召された理由があります (エペソ 4:12)
 - ① 聖徒たちを整えるためです
 - ② 奉仕の働きをさせるためです
 - ③ イエス・キリストのからだを建て上げるために召されました



2. 世に勝つ力を与えられました

- (1) 聖霊によって救われた神の民として証印を押されました (エペソ4:30)
- (2) 注意して見ると道があります (エペソ 5:15)
- (3) 聖霊の満たしをくださいます (エペソ5:18)

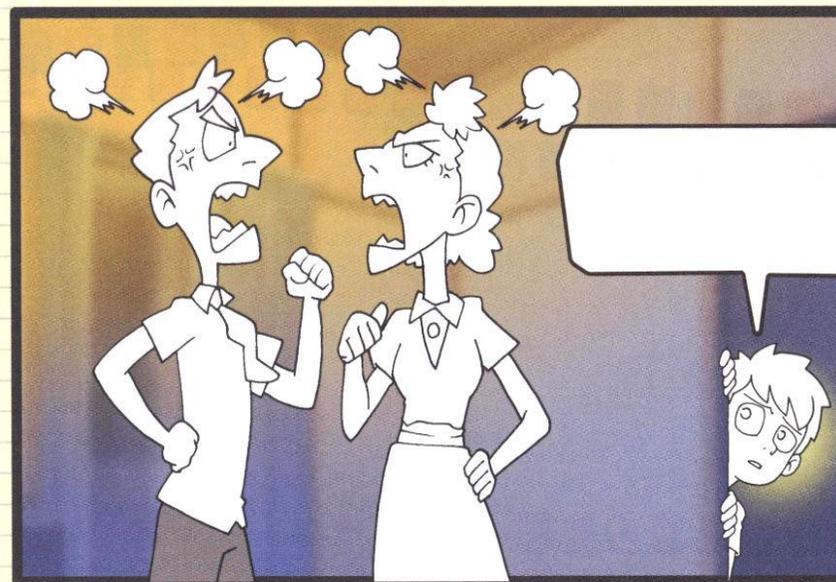
3. 家庭の傷を土台にして立ち上がらなければなりません

- (1) パパとママの問題を土台にしなければなりません (エペソ5:22~25)
- (2) 親と子どもの問題も土台にしなければなりません (エペソ6:1~3)



色をぬろう

エペソ人への手紙を黙想しながら、下の状況なら、どのように考えるべきかを書いて、色をぬろう



[考えてみよう]

- ① 教会の中で友だちとけんかをすることはありますか。そのとき、どのように考えるべきでしょうか。
- ② 家庭で受けた傷はありますか。傷をどのように土台にすべきでしょうか。
- ③ 聖霊の満たしとはなんでしょうか。友だち、先生と話してみましよう。



か レムナントは かんぜんに しょうりする みちが あります



エペソ 6:10~20 わたし たちの格闘は血
にくにたいするものではなく、主権、力、この
暗やみの世界の支配者たち、また、天に
いるもろもろの悪霊にたいするものです。
(12)

1. 必ず勝利する戦いは、どのような戦いですか

- (1) ただイエスだけが悪魔のしわざを打ちこわすことができます
(Iヨハネ3:8、マタイ4:1~10)
- (2) まず強い者を縛り上げなければなりません (マタイ12:25~45)
- (3) 肉的な戦いではなく、霊的な戦いをすべきです (エペソ6:12)

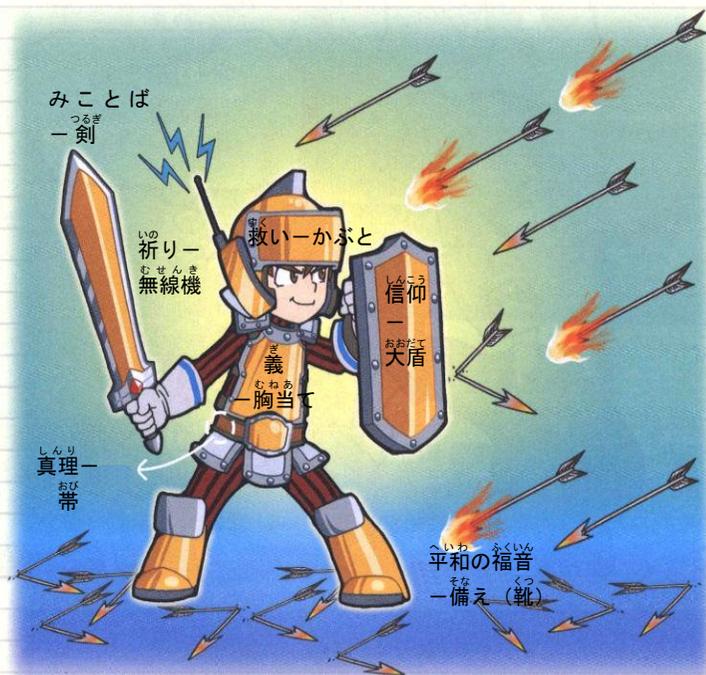


2. 勝利する内容はなんですか

- (1) まず霊的な戦いをしなければなりません (エペソ6:12)
- (2) 神様の武具を身に着けなければなりません (エペソ6:13)
- (3) 信仰の大盾で戦いましょう (エペソ 6:16)

3. 勝利するためにどんな武具がありますか (エペソ 6:10~20)

- (1) 防御する武器があります (かぶと、胸当て、帯、靴)
- (2) 攻撃する武器があります (剣、靴)
- (3) いつもすべきことがあります (エペソ6:18、祈り)



ワーク

エペソ人への手紙を黙想して 聖書箇所を覚えましょう



- ・すべての()、()、()、()の上に、また、今の世ばかりでなく、次に来る世においてもとなえられる、すべての()の上に高く置かれました。エペソ1:21
- ・また、()は、いっさいのものをキリストの足の下に()、いっさいのものの上に()かしらであるキリストを、教会にお与えになりました。エペソ1:22
- ・私たちの格闘は()に対するものではなく、主権、()、この()の世界の支配者たち、また、()にいるもろもろの()に対するものです。エペソ6:12

正しい単語を選んで()に入れましょう。

▲権威、悪霊、暗やみ、天、支配、血肉、権力、神、力、主権、立つ、従わせ、名

[考えてみよう]

人間をほろぼそうとするサタンについて知りましょう。

また、サタンのしわざを打ちこわされたイエス・キリストのお名前の方について知りましょう。

★学院福音化メッセージ(レムナントデイメッセージ)はwww.wedarak.netでダウンロードできます。